2025年9月

A green letter on a white background

AI-generated content may be incorrect.

**\*\*\*本プレスリリースは、即時解禁となります\*\*\***

Press Release

**Genelecの新しいメイン・モニター8380Aが登場**

**パワー、パフォーマンス、そして精密さを実現**

**2025年9月、フィンランド・イーサルミ**…プロフェッショナル・オーディオ・モニタリングの分野で世界を牽引するGenelecは、3ウェイ・ミッドフィールドSAM™メイン・モニターの「[8380A](http://main-studio-monitors/8380a/)」を発表しました。8380Aは、より大型のメイン・モニターとなる[8381A](https://www.genelec.jp/main-studio-monitors/8381a/)と同じ「The Main Ones」ファミリーの一員となります。精度の高い音像定位とニュートラルな音質再現を追求した設計により、8380Aは中規模のコントロール・ルームにおけるSPLを要求する環境（プロフェッショナルのレコーディング／ミキシング／マスタリング・スタジオを含む）や、プレミアムなホーム・オーディオ環境においても最適な選択肢となります。

8380Aは、高リニアリティの380mm（15インチ）ウーファーと、世界的に特許を取得する[MDC（Minimum Diffraction Coaxial）](https://www.genelec.jp/key-technologies/minimum-diffraction-coaxial-driver-technology/)ミッドレンジ・ツイーター・テクノロジーを搭載しています。卓越したダイナミクス、広大なヘッドルーム、高SPL性能、そして極めて低い自己生成ノイズ値を実現しています。時間軸領域での正確な再生と比類のない指向性制御を実現する8380Aは、そのパワーと精度を両立します。安定した音像定位と位相整合性により、長時間のセッションでも疲労感のないリスニングを実現。至近距離でのリスニングにおいても、一貫した色付けのない明瞭さを体験することができ、あらゆる再生レベルで細部まで信頼できるという、再生音に対する確信を得ることができます。

8380Aのエンクロージャは、2つの高リニアリティな前方指向型となるリフレックス・ポートを採用し、最大音量時でも極めてクリーンな低域再生を実現。従来のメイン・モニター製品と同様に壁面への設置にも対応します。Genelecの[DCW（Directivity Control Waveguide）](https://www.genelec.jp/key-technologies/directivity-control-waveguide-technology/)には、同軸型のMDCミッドレンジ・ツイーター・ドライバーを収め、音響軸の軸上／軸外の双方で極めて自然な再生を実現します。8380Aは時間軸領域性能も卓越しており、システム・ディレイが低いため他の8300シリーズ、The Ones、The Main Onesモニターとの優れた位相整合性を実現。GenelecのSAMモニターを同じシステム内で自由に組み合わせることが可能となります。

8380Aに統合されたRAM-L2パワー・アンプ・モジュールにもその革新性はおよびます。ファンレスのゼロノイズ設計を採用したRAM-L2は、ウーファー用に500W、ミッドレンジ・ドライバー用に250WのクラスDアンプを搭載し、ツイーターには200WのクラスABアンプを採用しています。Genelecのサステナブルな設計の取り組みの一貫として、8380Aは最小限の待機時消費電力を実現し、[ISS（Intelligent Signal Sensing）](https://www.genelec.jp/key-technologies/intelligent-signal-sensing-technology/)省電力テクノロジーによるインテリジェントな電力マネージメントを提供します。主要な仕様は、周波数特性は29Hz〜43kHz、最大瞬間SPLは122dB、自己生成ノイズ・レベルは驚異的とも言える0dB SPLです。さらに8380Aは、[1038](https://www.genelec.com/previous-models/1038b)、[1238](https://www.genelec.jp/main-studio-monitors/1238a/)の3ウェイ・モニターと同じサイズとなるため、長年にわたりGenelecのミッドフィールド・モデルを使用する皆様にとっても理想的なアップグレードとなります。

8380Aに内蔵されたDSPは、[SAM](https://www.genelec.jp/sam-studio-monitors-subwoofers/)ファミリーの一員として、Genelecの[GLMソフトウェア](https://www.genelec.jp/glm/)とも密接に連携します。GLMはGenelec SAMシステム全体の設定やキャリブレーション、コントロールを可能とします。GLMはモニターが設置されたリスニング・ルームでの音響特性を分析します。その結果をもとに音響の最適化を行い、ステレオをはじめサラウンド、そして多チャンネルのイマーシブ・フォーマットで意図した通りの正しい音で再現することで、ミックスの制作をサポートします。GLMには画期的な[GRADE（Genelec Room Acoustic Data Evaluation）](https://www.genelec.jp/glm/glm-grade/)室内音響レポート機能も搭載し、リスニング・ルームとモニタリング・システムの性能を包括的に分析。音響上の問題点について具体的な指摘と改善策を提供します。これによりユーザーやスタジオ設計者は、リスニング・ルームの室内音響の微調整、モニター位置やリスナー位置の最適化、ベースマネージメントのさらなる最適化が可能となります。

Genelecのマネージング・ディレクターのシアマック・ナギアンは次のように述べています。

「長年にわたり、Genelecの1038と1238 スタジオ・モニターは、正確で忠実な高SPL再生を求める中規模の音楽／映画／ポストプロダクション・スタジオから高い評価を受けてきました。フリースタンディングで設置できる5ウェイ・メイン・モニターの8381Aの登場を受け、最新の同軸テクノロジーを従来の埋め込み設置に対応できるコンパクトな3ウェイ設計の可能性がはっきりと見えてきました。8380Aはこの空白を完璧に埋め、世界中のプロフェッショナル・スタジオやホーム・オーディオの愛好家に次世代のミッドフィールド性能をもたらします」

オンラインでの発表後、ドイツのBeatconおよびTonmeistertaghungを皮切りに、8380Aは世界で行われるイベントで展示されます。

さらなる詳細は[www.genelec.jp](http://www.genelec.jp)をご覧ください。

\*\*\*以上\*\*\*

**Genelecについて**

1978年の創立以来、Genelecはプロフェッショナル・スピーカーをビジネスの主軸としてきました。研究開発への飽くなき取り組みが革新的な技術を生み出し、Genelecはアクティブ・スピーカー業界を牽引する存在となりました。創立から45年経過した今でも、Genelecのスピーカー製品は当初の哲学を忠実に守り、サイズに関わらず信頼性の高いニュートラルなサウンド再生と、リスニング環境の音響条件へ適応する機能を提供します。Genelecユーザーは、音響的なアドバイスやキャリブレーション・サービス、テクニカル・サービス、そして長い製品寿命など、最高のサポートを受けることができます。Genelec製品の購入は、オーディオ再生システムに対する長期的にご使用頂ける堅実な投資となります。

お問い合わせ先: 株式会社ジェネレックジャパン ｜マーケティング

電話番号: +81(0)3 6441 0591 email: [press@genelec.jp](mailto:press@genelec.jp)